

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

内部質保証推進会議

(責任者名) 羽田 功

(役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等																																																																																																																																																																															
学内からの視点	<p>横浜商科大学データサイエンス教育プログラムは全学科において、「ICTリテラシー1」「ICTリテラシー2」「ビジネスとAI」「情報社会の倫理」「データサイエンス入門」の5科目を開講し、5科目すべてを合格した学生に対し修了証としてオープンバッジを発行するものである。初めに科目ごとの履修・修得状況について確認を行う。対象5科目のうち、「ICTリテラシー1」と「ICTリテラシー2」は必修科目であり、1年次生が全員受講している。2024(令和6)年度の1年次生(計340名)の「ICTリテラシー1」と「ICTリテラシー2」の履修・修得状況は概ね2023年度と同様で、以下の通りである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">ICTリテラシー1</th> <th colspan="5">ICTリテラシー2</th> </tr> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>182</td> <td>182</td> <td>100.00%</td> <td>177</td> <td>97.30%</td> <td>商学科</td> <td>181</td> <td>182</td> <td>99.50%</td> <td>171</td> <td>94.00%</td> </tr> <tr> <td>観光マネジメント学科</td> <td>62</td> <td>62</td> <td>100.00%</td> <td>61</td> <td>98.40%</td> <td>観光マネジメント学科</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>96.80%</td> <td>58</td> <td>93.50%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>100.00%</td> <td>93</td> <td>96.90%</td> <td>経営情報学科</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>100.00%</td> <td>88</td> <td>91.70%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>340</td> <td>340</td> <td>100.00%</td> <td>331</td> <td>97.40%</td> <td>計</td> <td>337</td> <td>340</td> <td>99.10%</td> <td>317</td> <td>93.20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、残り3科目は選択科目として開講しているため、1年次生だけでなく2年次生の履修者も多い。このため、これら3科目については、1年次生と2年次生の計673名に対する2023年度と2024年度を合わせた履修・修得状況を以下に載せる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">ビジネスとAI</th> <th colspan="5">データサイエンス入門</th> </tr> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>112</td> <td>364</td> <td>30.77%</td> <td>75</td> <td>20.60%</td> <td>商学科</td> <td>220</td> <td>364</td> <td>60.44%</td> <td>192</td> <td>52.75%</td> </tr> <tr> <td>観光マネジメント学科</td> <td>19</td> <td>124</td> <td>15.32%</td> <td>7</td> <td>5.65%</td> <td>観光マネジメント学科</td> <td>51</td> <td>124</td> <td>41.13%</td> <td>45</td> <td>36.29%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>89</td> <td>185</td> <td>48.11%</td> <td>53</td> <td>28.65%</td> <td>経営情報学科</td> <td>124</td> <td>185</td> <td>67.03%</td> <td>108</td> <td>58.38%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>220</td> <td>673</td> <td>32.69%</td> <td>135</td> <td>20.06%</td> <td>計</td> <td>395</td> <td>673</td> <td>58.69%</td> <td>345</td> <td>51.26%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">情報社会の倫理</th> </tr> <tr> <th>学科</th> <th>履修者数</th> <th>学生数</th> <th>履修率</th> <th>修得者数</th> <th>修得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商学科</td> <td>194</td> <td>364</td> <td>53.30%</td> <td>173</td> <td>47.53%</td> </tr> <tr> <td>観光マネジメント学科</td> <td>33</td> <td>124</td> <td>26.61%</td> <td>25</td> <td>20.16%</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>87</td> <td>185</td> <td>47.03%</td> <td>75</td> <td>40.54%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>314</td> <td>673</td> <td>46.66%</td> <td>273</td> <td>40.56%</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度、選択科目であるこれら3科目の履修推奨を強く行ったこともあり、履修者数は昨年に比べ、3科目とも大幅に伸びている。また、修得者数についても「ビジネスとAI」が135名(昨年度末:52名)、「情報社会の倫理」が272名(昨年度末:88名)、「データサイエンス入門」が345名(昨年度末:36名)となっており、順調に伸びていることが分かる。ここまでは科目ごとに見てきたが、これらの5科目全体で構成されるデータサイエンス教育プログラムの修了者数についても確認する。今年度の修了者数は、商学科36名、経営情報学科22名の計58名であった。これにより、本プログラムの累計修了者数は2024年度末時点で75名となる。この他にも、まだ本プログラムを修了してはいないものの修了が近い、4科目単位修得した学生数は138名、3科目単位修得した学生数は242名である。これらの学生は早期の修了が期待できるため、今後も引き続き、本プログラムの残りの科目を履修するよう強く働きかけを行う。また本学では近年、AI・データサイエンス教育を特に重視しており、2025年度開始の新カリキュラムにおいて、商学科と経営情報学科情報マネジメントコースでは本プログラム対象5科目を全て必修科目とする。これにより、本プログラムの履修率及び修得率が今後大幅に増加することが期待できる。</p>	ICTリテラシー1					ICTリテラシー2					学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	182	182	100.00%	177	97.30%	商学科	181	182	99.50%	171	94.00%	観光マネジメント学科	62	62	100.00%	61	98.40%	観光マネジメント学科	60	62	96.80%	58	93.50%	経営情報学科	96	96	100.00%	93	96.90%	経営情報学科	96	96	100.00%	88	91.70%	計	340	340	100.00%	331	97.40%	計	337	340	99.10%	317	93.20%	ビジネスとAI					データサイエンス入門					学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	112	364	30.77%	75	20.60%	商学科	220	364	60.44%	192	52.75%	観光マネジメント学科	19	124	15.32%	7	5.65%	観光マネジメント学科	51	124	41.13%	45	36.29%	経営情報学科	89	185	48.11%	53	28.65%	経営情報学科	124	185	67.03%	108	58.38%	計	220	673	32.69%	135	20.06%	計	395	673	58.69%	345	51.26%	情報社会の倫理					学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	商学科	194	364	53.30%	173	47.53%	観光マネジメント学科	33	124	26.61%	25	20.16%	経営情報学科	87	185	47.03%	75	40.54%	計	314	673	46.66%	273	40.56%
ICTリテラシー1					ICTリテラシー2																																																																																																																																																																											
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																																																																					
商学科	182	182	100.00%	177	97.30%	商学科	181	182	99.50%	171	94.00%																																																																																																																																																																					
観光マネジメント学科	62	62	100.00%	61	98.40%	観光マネジメント学科	60	62	96.80%	58	93.50%																																																																																																																																																																					
経営情報学科	96	96	100.00%	93	96.90%	経営情報学科	96	96	100.00%	88	91.70%																																																																																																																																																																					
計	340	340	100.00%	331	97.40%	計	337	340	99.10%	317	93.20%																																																																																																																																																																					
ビジネスとAI					データサイエンス入門																																																																																																																																																																											
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率	学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																																																																					
商学科	112	364	30.77%	75	20.60%	商学科	220	364	60.44%	192	52.75%																																																																																																																																																																					
観光マネジメント学科	19	124	15.32%	7	5.65%	観光マネジメント学科	51	124	41.13%	45	36.29%																																																																																																																																																																					
経営情報学科	89	185	48.11%	53	28.65%	経営情報学科	124	185	67.03%	108	58.38%																																																																																																																																																																					
計	220	673	32.69%	135	20.06%	計	395	673	58.69%	345	51.26%																																																																																																																																																																					
情報社会の倫理																																																																																																																																																																																
学科	履修者数	学生数	履修率	修得者数	修得率																																																																																																																																																																											
商学科	194	364	53.30%	173	47.53%																																																																																																																																																																											
観光マネジメント学科	33	124	26.61%	25	20.16%																																																																																																																																																																											
経営情報学科	87	185	47.03%	75	40.54%																																																																																																																																																																											
計	314	673	46.66%	273	40.56%																																																																																																																																																																											
学修成果	<p>横浜商科大学データサイエンス教育プログラムでは、全科目共通で実施している学期末の授業アンケートで学修成果を把握し、学生の成績評価と合わせて教育内容の妥当性について定量的に分析している。2024年度の授業アンケートでは、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「総合的にみて、この授業は満足できるものでしたか。5段階評価:5(大変満足)~1(大変不満)」という設問に、「5」「4」「3」を回答した割合は96.4%であり、昨年度(96.9%)とほぼ同程度であった。一方、「5」と「4」を回答した割合は77.3%であり、昨年度の73.8%に比べ増加しており、受講生がデータサイエンスに関心を持って取り組む姿勢は高くなったと評価できる。また授業アンケートにおいて、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「この授業で身についた知識・能力を選択してください」という設問において、受講生に11項目から複数選択してもらったところ、選択数が多い順に上位5項目は「幅広い教養とモラルを身につけている」「専門的知識を問題解決に活用できる」「商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている」「論理的に思考することができる」「社会の課題を発見することができる」であった。これらは本プログラムで掲げる学生が身に付けられる能力と一致した項目であり、本プログラムの学修成果が出ていることが確認できる。</p>																																																																																																																																																																															
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>学期末の授業アンケートでは、データサイエンス教育プログラムの5科目全体で「【複数選択】この授業で身についた知識・能力を選択してください」という設問において、幅広い教養とモラルを身につけている 54.8%、商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている 34.4%、多様な価値を理解することができる 29.8%、社会の課題を発見することができる 29.9%、論理的に思考することができる 32.0%、専門的知識を問題解決に活用できる 42.5%、自分の考えを他者に伝えることができる 24.7%、他者の考えを受け入れることができる 20.8%、社会に貢献する意欲を持っている 15.9%、主体的に行動する意欲を持っている 17.4%、他者と協力する態度を持っている 15.9%、であった。今年度の特徴として、「幅広い教養とモラルを身につけている」と考えている学生が多いことが挙げられる。全般的には、学修成果の欄でも述べたが、本プログラムで掲げる学修目標に一致した項目の値が高く、必要な能力を一定程度身に付けられていると考えられる。また授業アンケートでは「ゆっくり進めてくれるのでわからないところがあっても理解することができた。」「質問に分かりやすく丁寧に教えてくれる点が非常にありがたかった。また、スライドを見ればついてこれる点も助かった。」「細かく説明してくれることからとても分かりやすかった。」「演習で何を行うのか、それをすることで何が分かるのかなど分かりやすかったので講義が受けやすかった。」などの自由記述を得ている。1年次必修科目である「ICTリテラシー1」「ICTリテラシー2」では週1回の担当教員とSAIによるミーティングを実施し、そこで出た意見を授業運営に随時反映し、理解度を高める工夫・改善を務めている。また、SAIは学内の研修を受講することで適切な学習支援ができるようにしている。今後も、授業内容の改善を図るとともに、学生の理解度と社会的ニーズの双方を踏まえて、学生の理解度をより向上させるよう改善を図る必要がある。</p>																																																																																																																																																																															

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度</p>	<p>授業アンケートにおいて、後輩学生への推奨といった設問は設定していないが、本学では後輩への授業の推奨や学修支援を行う存在としてSA制度があげられる。本プログラムに含まれる「ICTリテラシー1」「ICTリテラシー2」には、各クラス1名のSAを配置している。2024年度の秋学期に、SAの説明会を実施したところ、25名の1年次生が参加し、このうち19名が次年度のSA・メンターとして採用された。このため、後輩などへの本プログラムの推奨度は、一定程度はあると考えられる。今後、本プログラムの後輩等他の学生への推奨度についての設問も含めたアンケートを設計、実施する予定である。</p>
<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>本プログラムにおける「ICTリテラシー1」「ICTリテラシー2」は全学科で1年次必修科目であるため、最終的な単位修得率は100%を目指している。令和6(2024)年度の単位修得率はそれぞれ97.4%、93.2%であり、目標に近い値を達成することができた。「ビジネスとAI」は、経営情報学科情報マネジメントコースで必修科目となっているため、経営情報学科の履修率が一番高く48.11%であり、学部全体での履修率は32.69%である。次に「情報社会の倫理」は科目の内容から商学科と経営情報学科の履修率が高く、学部全体での履修率は46.66%である。また「データサイエンス入門」は、商学科・観光マネジメント学科・経営情報学科の全学科で履修者数が多く、学部全体での履修率は58.69%となっている。履修率も昨年度に比べ大幅に増加しており、履修率向上に向けた計画も概ね達成できていると言える。また、本プログラムの履修率の抜本的な向上のために、2025年度開始の新カリキュラムにおいて、商学科と経営情報学科情報マネジメントコースでは本プログラム対象5科目を全て必修科目とすることが決まっている。これにより、本プログラムの履修率及び修得率が今後大幅に増加することが期待できる。</p>
<p>学外からの視点</p>	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>2023年から開始したため、まだプログラム修了で卒業した者は出ていない。また、企業等の評価についてであるが、本学の業務委託契約先である株式会社アールシーエーから、引き続き「本プログラム」により、ただICT関連のツールを上辺だけ使ったのではなく、データとは何であるかを理解した学生が輩出されることが期待できる。必修の情報リテラシーではSAが配置されることでスキルの底上げがなされることが期待され、SA自身のスキルも向上することが望める。」との評価をいただいている。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>産業界において実際に業務に使われる実データの提供はまだ受けていないが、実データは本プログラム教育において重要であるため、今後、企業の実データ分析を授業に取り入れる予定である。現在は、総務省のデータを用いた分析や、本学学内で蓄積されたタイピングスコアデータを用い、大学全体、クラス全体、個人のタイピングスコアの年間推移の分析および論述を課している。これらのデータの処理の際には、必要に応じてGoogleのSaaSアプリ群とMicrosoft365のアプリ群を柔軟に使い分け、先述の株式会社アールシーエーより好意的な評価を得ており、引き続き多様なデータ処理ができる人材を育成していきたい。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>学期末の授業アンケートでは、「総合的にみて、この授業は満足できるものでしたか。5段階評価：5(大変満足)～1(大変不満)」という設問に、「5」「4」「3」を回答した割合は96.4%であった。また「5」と「4」を回答した割合は77.3%であり、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させることは、一定程度達成することができた。これは、前年度に引き続き、ICTリテラシーの毎回の授業で実施するタイピングテストの1年次生全員の実データを活用する身近なテーマを設定したこと、自分で実施したアンケートをもとにした分析、実例をもとにした情報の適切な活用など、主体的に取り組みやすい授業設計を行ったことによるものと考えられる。また授業アンケートでは「楽しく授業を受けられた」「AIについての最近の事例をもとに細かな説明があったのでわかりやすかったです」「現代におけるAIの技術的能力や、多くの企業で利用されている最先端技術などを学ぶことができた」「AIについて深く学べた」「Excelによるデータ分析についてしっかり理解し、様々な場面で適切なデータ処理と文書作成ができる」「レポート内容などもデータをもとに考察して書いていくのがほとんどであるため頭を使う分にはちょうどいい学習内容に感じた」などの自由記述を得ている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>必修科目である「ICTリテラシー1」「ICTリテラシー2」では、1クラスのサイズを30人程度に設定し、クラスごとに1名のSAをつけることで、学生が質問しやすい環境を構築している。また、全クラスで統一した授業資料を用い、必要に応じて担当教員間および担当SA間で情報共有することで、統一した内容・水準を維持することを心掛けている。加えて、週1回の担当教員とSAによるミーティングを実施し、そこで出た意見を授業運営に随時反映することで、より「分かりやすい」授業を実施した。また授業アンケートでは、「先生やSAさんの説明がわかりやすい」「丁寧に説明してくださってわかりやすかった」「SAの方がとてもやさしく教えてくれた」「SAの方との距離感が近いので質問がしやすく緊張せずに授業を受けられるため非常に良い授業だった」「SAの先輩が細かいところまで教えてくれて、とても支えになった。本当に感謝しています。」などの自由記述を得ている。</p>